



2病棟

の子どもたちの生活のひとコマ

スマイル😊フラワー展

2023 冬の作品



日本では昔から普段の日々の暮らしを「ケ」、お祭りや伝統行事などを行う特別な日を「ハレ」と呼んでいます。晴れ晴れ、晴れ姿、晴れの舞台のように「ハレ」は、清々しくておめでたい節目のことをさします。

そこで2病棟の子どもたちと今回は、私たちの心を豊かにする「ハレの日」をもっと楽しみ、もっと身近なものにしようと、「ハレ」を祝い、喜び、迎えるための縁起物のイラストにちぎり絵で色を施し、写真立てに入れて展示しました。

今年の干支である「卯」は「吉報を聞き逃さない」、「赤べこ」はコロナ収束を願い「疫病除け」などと、それぞれの縁起物に適った意味も添えてあります。そして、上から下へと末広がりになっている「富士山」のように、皆の「未来の展望が開ける」よう一日一日自分たち

なりに律した生活を送っていきたいですね。

売店近くの渡り廊下エリアの出窓のところに展示してある“2病棟スマイル😊フラワー展”の作品のように、皆さんも「ハレの日」に揃えたい縁起物をお一ついかがでしょうか。
(保育士 伊藤 真衣)



通所支援事業のひとコマ

節分、立春が過ぎ、季節はもうすぐ春ですね。でもまだまだ寒い日が多いので、通所支援はお部屋のなかで、のんびり・まったりと過ごしています。



こちらみんなでワイワイと楽しむことができました。

園芸活動はお休み中ですが、昨年植えたイチゴのランナーから根付いた株がすくすく育ち、冬の寒さにも負けずしっかり葉を残しています。そろそろ春に向けてジャガイモを植えたりするのはどうだろう…とスタッフで

1月は書き初めや福笑い、すごろく遊びを行いました。普段の利用者さんの様子やご家族さんに教えていただいたエピソードから、スタッフが一人一人にピッタリ?の一言を考えて、利用者さんと一緒に筆を持って思いをしたためました。福笑いはベッドサイドでも実施できるように、クッキー缶のふたを利用して、顔パーツにはマグネットをつけて、どんな角度にしても落ちこまないようにしてみました。できあがった顔を見て一緒に笑ってくださる利用者さんもいて、楽しいひと時を過ごしました。すごろくは模造紙とホワイトボードを使って、大きなサイコロを転がして行いました。もう少しでゴールというところに「スタートにもどる」マスがあったり、「さんぽ♪をうたう」とか「くすぐられる」とかいうマスもあって、

話したりもしていません。陽だまりはポカポカの日も増えてきたので、花粉に気を付けながら外気浴などもしていけたらいいなあ~と思います。春までには流行病(はやりやまい)が下火になりますように…。

(療育指導室長 村松 順子)

